

泉大津市と吉田房織物株式会社との包括連携に関する協定書

(目的)

第1条 泉大津市（以下「甲」という。）と吉田房織物株式会社（以下「乙」という。）は、相互の連携強化を図ることで、地域産業の活性化及び地域資源を活かした持続可能なまちづくりに向け、市民サービスの向上及びシビックプライドの醸成に資する取組を創出していくことを目的とする。

(連携事項)

第2条 甲と乙は、前条の目的を達成するため、次の事項について連携し、協力する。

- (1) 地域の活性化に向けた取組の創出に関するこ
- (2) 地域産業教育の推進に関するこ
- (3) 防災に関するこ
- (4) 子育て支援に関するこ
- (5) その他前条の目的を達成するために必要な事項に関するこ

2 具体的な実施事項については、甲乙協議の上決定する。

(協定の見直し及び解除)

第3条 甲又は乙のいずれかから、協定内容の変更又は解除の申出があったときは、その都度協議の上、必要な変更又は解除を行うものとする。

(期間)

第4条 本協定の有効期間は、協定締結日から令和9年3月31日までとする。ただし、期間満了1か月前までに甲又は乙から相手方に対して書面により協定終了の申出を行わない限り、本協定は更に1年間更新し、以降も同様とする。

(守秘義務)

第5条 甲及び乙は、第2条に掲げる事項の実施において、知り得た秘密情報を第三者に開示、提供又は漏洩せず、また本協定に基づく取組以外の目的に使用してはならない。ただし、相手方の事前に書面による承諾を得た場合は、この限りではない。

2 前項に定める義務は、本協定の終了後も存続するものとする。

(疑義の決定)

第6条 この協定に定めのない事項又はこの協定に定める事項に関し疑義等が生じたときは、甲乙誠意をもって協議し、これを取り決めるものとする。

以上、この協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙それぞれ署名の上、各自1通を保有する。

令和7年12月15日

甲 大阪府泉大津市東雲町9番12号
泉大津市
市長

南出 賢一

乙 大阪府泉大津市板原町1丁目13番地36号
吉田房織物株式会社
代表取締役社長

吉田 裕紀